



2026年3月期 第2四半期決算説明資料

2025年11月12日

フルハシEPO株式会社

東証スタンダード市場・名証メイン市場
証券コード: 9221

Create Sustainability for Our Future



2026年3月期 第2四半期

売上高・営業利益 過去最高



中期経営計画 新規拠点展開(現在22拠点)

名古屋CEセンター稼働

(2025年9月)

愛知第八工場(一宮)稼働

(2024年10月)

<現在12ヶ所進行中>

株主還元(増配・累進配当)

2026年3月期

中間配当 **15円**

年間配当 **30円** (予想)

<前期 中間配当14円 年間配当28円>

目次

1. 2026年3月期 第2四半期決算業績
2. 2026年3月期 業績予想
3. 中期経営計画進捗(成長戦略・株主還元)
4. トピックス

Create Sustainability for Our Future

売上高・営業利益とも過去最高を更新

売上高

4,873百万円

前年同期比：8.8%増

営業利益

504百万円

前年同期比：13.6%増

親会社株主に帰属する 中間純利益

368百万円

前年同期比：17.2%減

市場環境

輸入木質資源

- 続く円安傾向による輸入コストの高騰
- 輸送に多量のCO2排出を伴い環境負荷として懸念
- 新規バイオマス発電がFIT制度の対象外となる方針(2026年度以降)

国内木質資源

- 国内資源の有効活用で輸送コストと環境負荷低減を実現
- 発生量は安定的に推移

トピックス

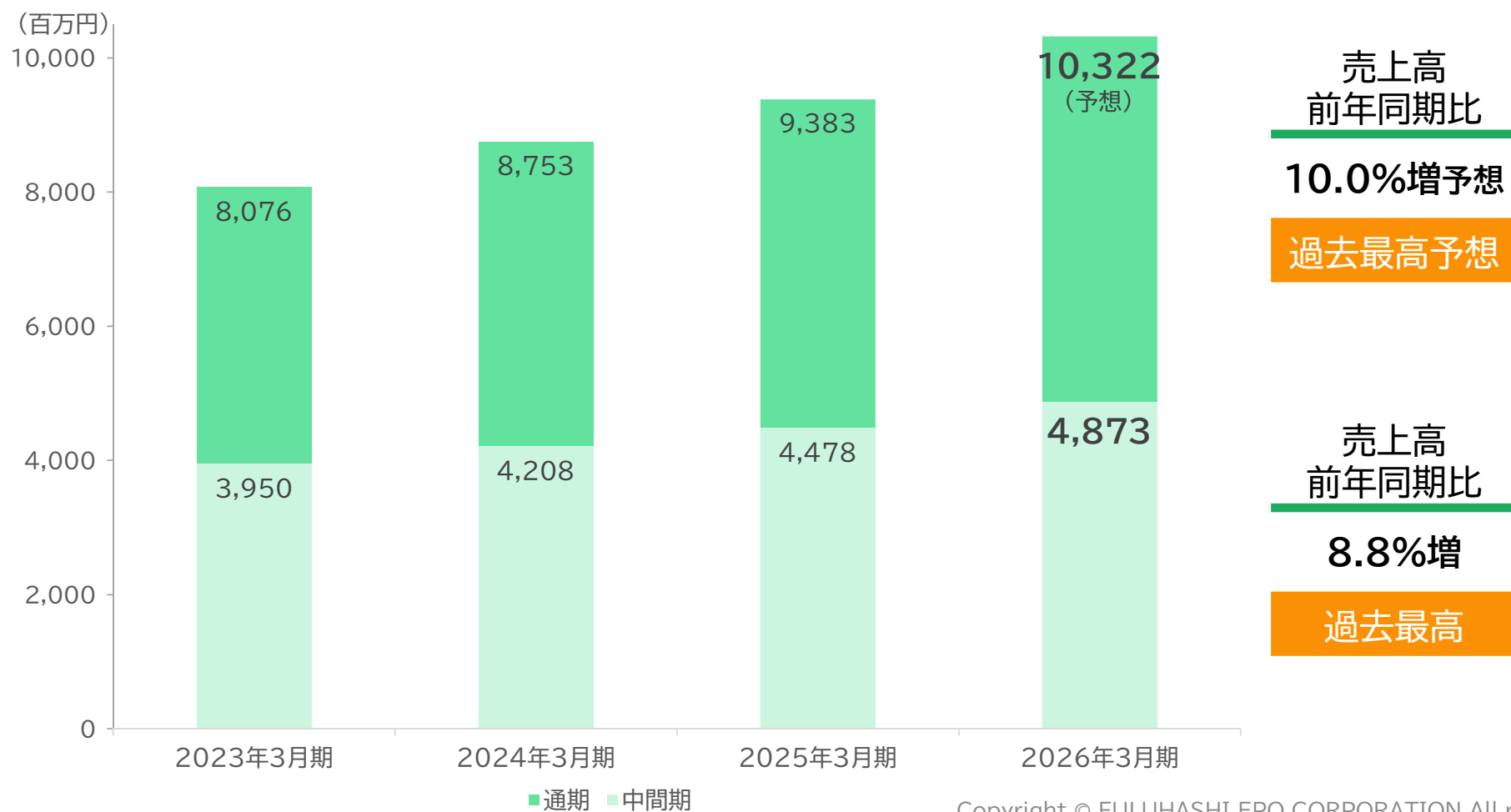
- 中期経営計画に基づく量的拡大と単価改定により売上増
- 名古屋CEセンターの稼働及び愛知第八工場(一宮)の順調な稼働による安定供給

(注)2025年3月期 第2四半期決算は、営業外収益に保険解約返戻金194百万円を計上しております。

1. 2026年3月期 第2四半期決算業績 売上高



バイオマテリアル事業、資源循環事業を柱に、サーキュラーエコノミーの実現に貢献



1. 2026年3月期 第2四半期決算業績 損益計算書



売上高・営業利益とも過去最高を更新

(百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期			
	実績	実績	前年同期比	構成比	予想
売上高	4,478	4,873	+8.8%	100.0%	4,994
売上総利益	1,998	2,130	+6.6%	43.7%	2,334
営業利益	444	504	+13.6%	10.4%	609
経常利益	662	498	△24.8%	10.2%	603
親会社株主に帰属する 中間純利益	444	368	△17.2%	7.6%	397

(注)2025年3月期 第2四半期決算は、営業外収益にて保険解約返戻金194百万円を計上しております。

Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All rights reserved.

セグメント売上高・利益(前年同期比)

- バイオマテリアル事業 量的拡大と付加価値化により売上高9.1%増
 - 資源循環事業 量的拡大により売上高14.6%増
 - その他事業 物流機器販売や解体スポット案件の減少により売上高4.4%減
- (百万円)

	セグメント売上高			セグメント利益又は損失(△)		
	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	前年同期比
バイオマテリアル事業	3,262	3,559	+9.1%	469	450	△4.0%
資源循環事業	712	816	+14.6%	△10	35	—
その他事業	718	686	△4.4%	△6	24	—
調整額	△214	△189	—	△9	△6	—
連結合計	4,478	4,873	+8.8%	444	504	+13.6%

(注)セグメント別売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。セグメント別利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しています。

バイオマテリアル事業(四半期ごとの推移)

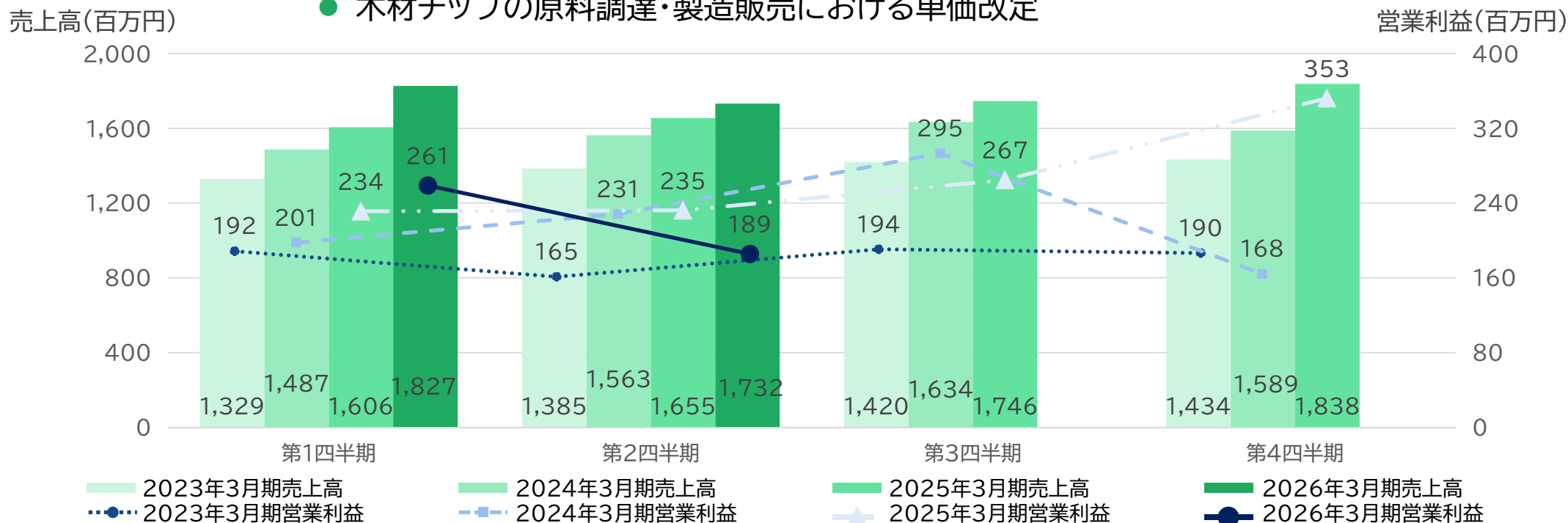


量的拡大

- 名古屋CEセンターの稼働
- 岐阜第二工場(大垣)、西東京工場(入間)、愛知第八工場(一宮)における順調な稼働
- 能登半島地震の災害廃棄物受入等による原料調達量の増加

付加価値化

- 高付加価値木材チップ製品の生産強化
- 木材チップの原料調達・製造販売における単価改定



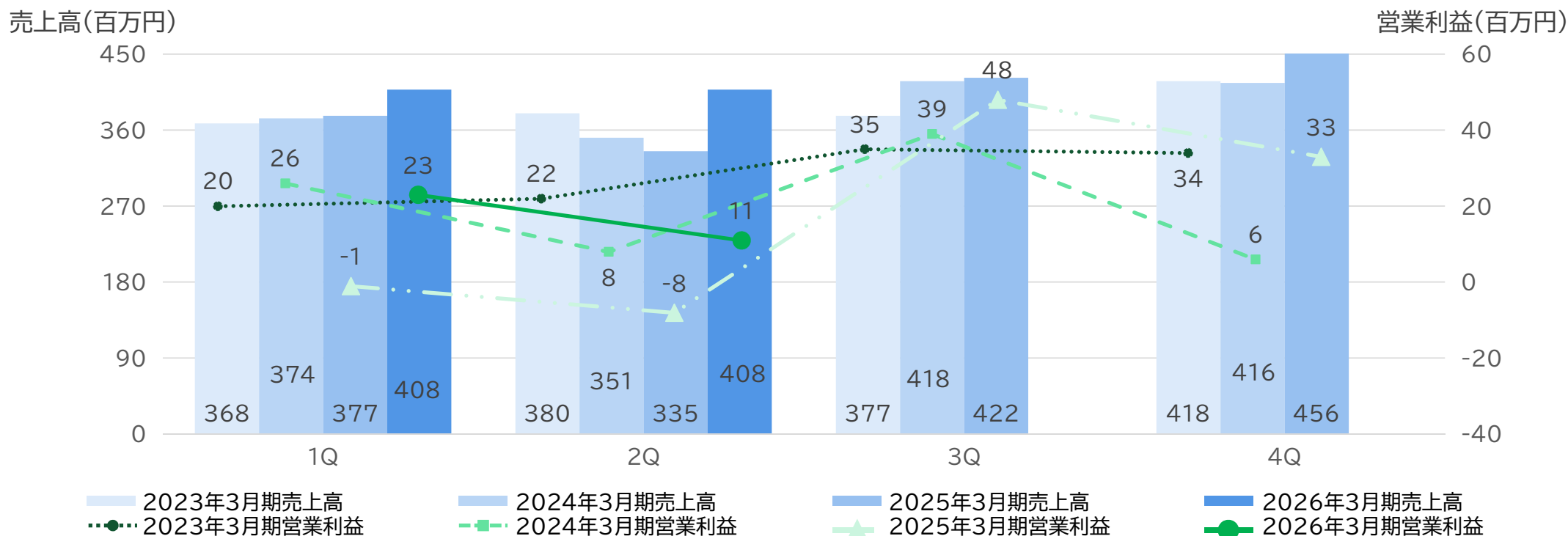
(注)セグメント別売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。セグメント別利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しています。

1. 2026年3月期 第2四半期決算業績

資源循環事業(四半期ごとの推移)



- 量的拡大**
- 柏リサイクルガーデンの稼働等、広範囲に対応した営業体制で受注確保に注力
 - 工事着工数を維持している取引先に対するインナーシェアの拡大
 - 中堅規模の地元建設会社を軸とした既存取引先との取引比率向上



(注)セグメント別売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。セグメント別利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整しています。

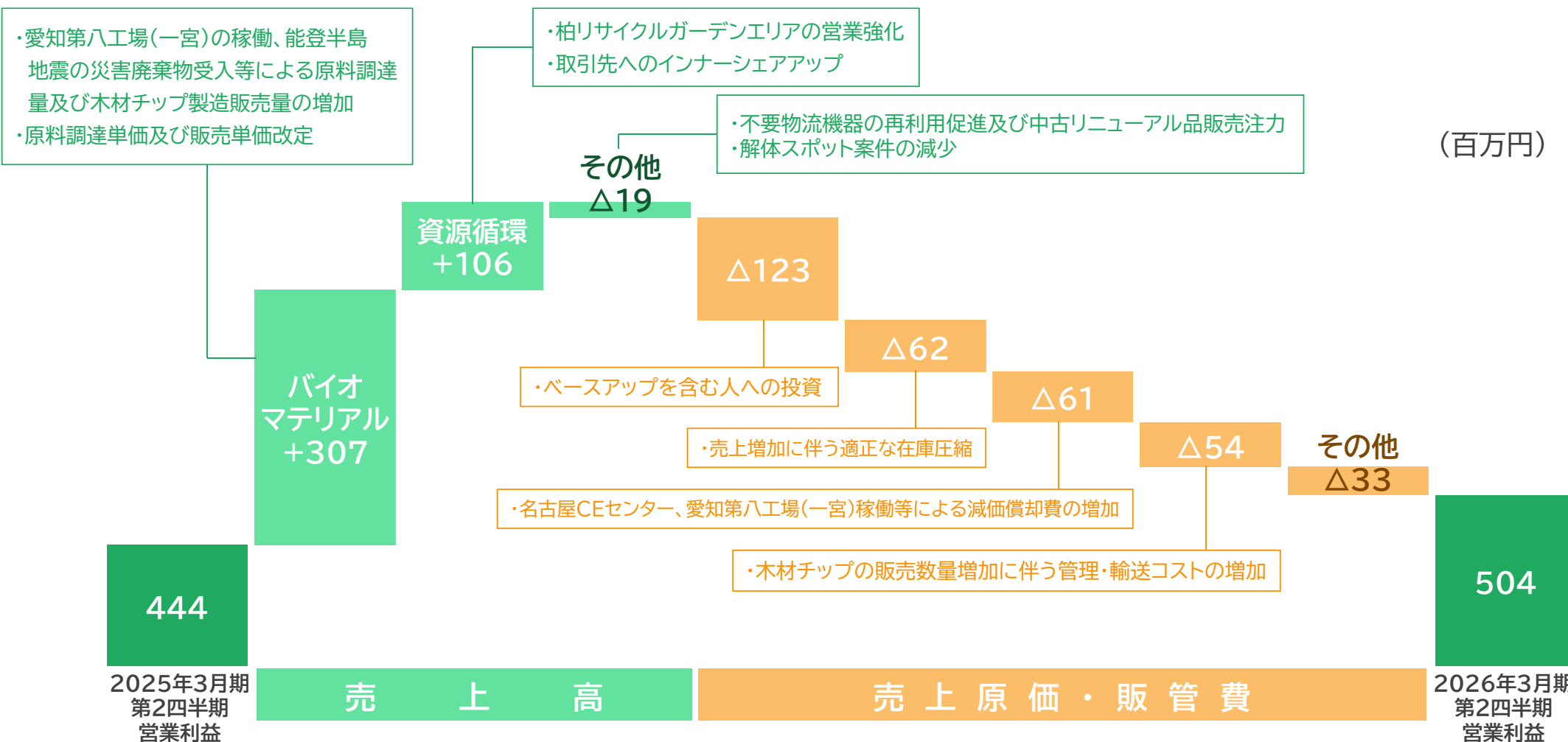
Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All rights reserved.

1. 2026年3月期 第2四半期決算業績

営業利益増減要因分析(前年同期比)



(百万円)



貸借対照表

中期経営計画達成に向けた積極的な設備投資

- ・ 資産は名古屋CEセンターの稼働や工場新設に向けた設備投資により増加
- ・ 負債は短期借入金増加により増加、純資産は純利益計上等により増加

(百万円)

	2025年3月期	2026年3月期 第2四半期		主な要因
	実績	実績	増減額	
流動資産	2,580	2,262	△318	現預金の減少
固定資産	9,588	10,297	708	設備投資による増加
資産合計	12,169	12,559	390	
流動負債	3,455	3,723	267	短期借入金の増加
固定負債	3,121	3,017	△103	長期借入金の減少
純資産	5,591	5,817	226	配当金支払・純利益計上
負債・純資産合計	12,169	12,559	390	

1. 2026年3月期 第2四半期決算業績 キャッシュ・フロー計算書



中期経営計画達成に向けた投資キャッシュ・フローのマイナス

- ・ 営業キャッシュ・フローはバイオマテリアル事業の堅調な利益確保によりプラス
- ・ 投資キャッシュ・フローは有形固定資産の取得による支出により大幅なマイナス
- ・ 財務キャッシュ・フローは長期借入金返済による支出によりマイナス

(百万円)

	2025年3月期 第2四半期	2026年3月期 第2四半期	主な要因
	実績	実績	
営業キャッシュ・フロー	669	666	純利益の計上
投資キャッシュ・フロー	△1,133	△758	有形固定資産の取得による支出
財務キャッシュ・フロー	△202	△124	短期借入金の増加、長期借入金返済による支出
現金及び現金同等物の 増減額	△663	△220	
現金及び現金同等物の 中間期末残高	1,649	772	

2. 2026年3月期 業績予想 通期業績予想



売上高、売上総利益、営業利益は過去最高を更新予定

(百万円)

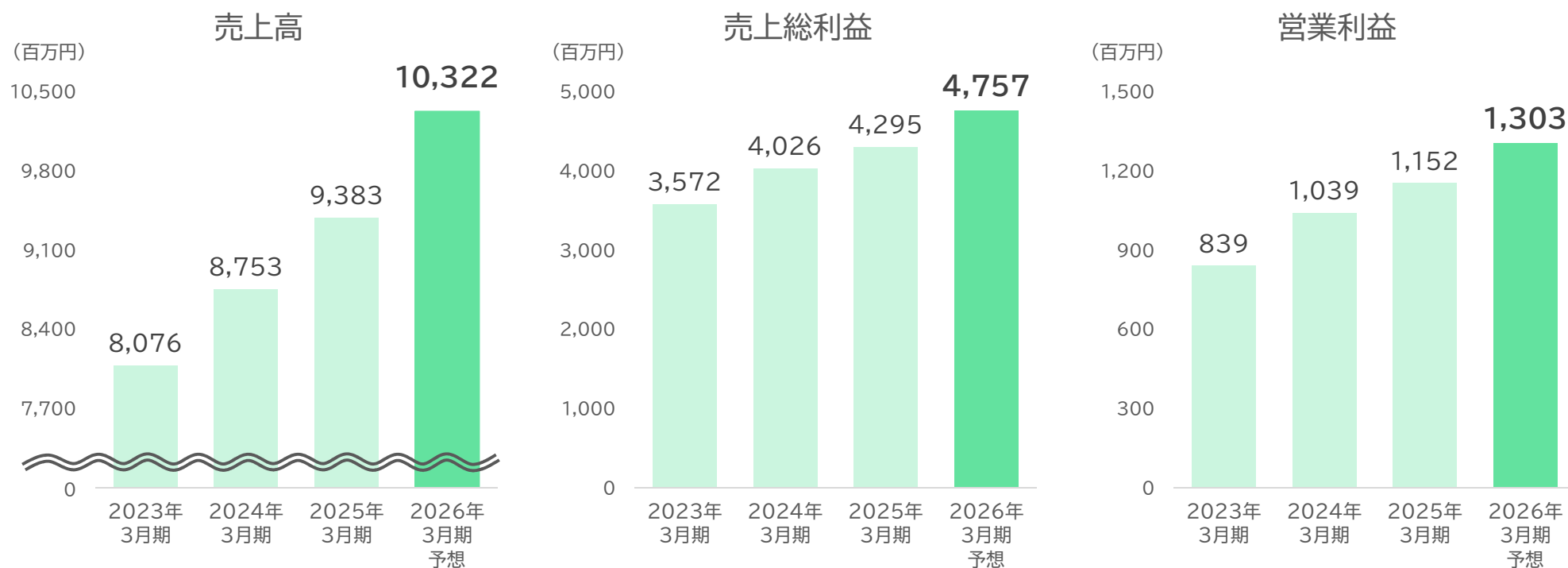
	2025年 3月期	2026年3月期			2026年3月期 第2四半期	
	実績	業績予想	増減額	増減率	実績	進捗率
売上高	9,383	10,322	938	+10.0%	4,873	47.2%
売上総利益	4,295	4,757	462	+10.8%	2,130	44.8%
営業利益	1,152	1,303	150	+13.1%	504	38.7%
経常利益	1,432	1,335	△97	△6.8%	498	37.3%
親会社株主に 帰属する 当期(中間)純利益	1,033	905	△127	△12.4%	368	40.7%

2. 2026年3月期 業績予想 通期業績予想(推移)



2026年3月期についても

売上高、売上総利益、営業利益は増収増益の業績予想



3. 中期経営計画進捗(成長戦略・株主還元)

中期経営計画の進捗概要



中期経営計画方針

木質資源を軸にしたサーキュラーエコノミー・再生可能エネルギー時代の牽引
増収・増益・増配・従業員還元のサステナビリティ企業へ

事業戦略(量的拡大)

事業戦略(量的拡大)による増収・増益

- ・ 中日本エリア及び東日本エリアを中心に工場を新設
- ・ 年間100万t木質バイオマス取扱量体制を目標

サステナビリティ戦略

ESG等による企業価値向上

- ・ 戦略的な組織変更(課題解決型の組織体制)
- ・ 生産工程等の省人化及び輸送効率化
- ・ 職場環境整備、人材育成
- ・ 地域社会の安心安全への取組み等
- ・ 実質的ガバナンス強化(取締役会の実効性向上)等
- ・ 非財務情報の充実等

株主還元

累進配当を基本方針とした株主還元

- ・ 将来的な連結配当性向は35%程度を目標

進捗トピック

- ・ 愛知第八工場(一宮)稼働(2024年10月)
- ・ 名古屋CEセンター稼働(2025年9月)

進捗トピック

- ・ 組織変更として、経営戦略本部、事業開発部門、サステナビリティ推進部門等を設置(2024年4月)
- ・ グループ内事業再編(重複事業の整理及び組織強化)
- ・ 能登半島地震の災害廃棄物の受入支援開始(2025年1月)
- ・ 監査等委員会設置会社への移行(2025年6月)
- ・ 取締役会の実効性評価結果の開示(2025年6月)

2026年3月期 還元方針

- ・ 一株当たり配当金2025年3月期 28円に対して、2026年3月期 30円(予想)と増配・累進方針
- ・ 2026年3月期末を基準とした株主優待制度を導入

中計の基本方針・戦略は堅持、実現に向けて戦略を強化



名古屋CEセンター(9月稼働)



能登半島地震の災害廃棄物

3. 中期経営計画進捗(成長戦略・株主還元)

中期経営計画の進捗状況(重視する定量目標)



木質再資源化の量的拡大を着実に実行し、最終年度での目標達成を目指します
具体化した案件から順次開示することとし、12ヶ所の工場新設が進行しています

	目標設定時	成長準備	成長投資		成長加速
		・基盤強化 (組織変更、本社・事業再編等)	・許認可取得可能な用地選定 (12ヶ所契約の状況)		・工場新設及びM&A活用等 ・更なる収益性と生産性の向上
	2024年3月期 (実績)	2025年3月期 (実績)	2026年3月期 第2四半期(実績)	2026年3月期 (計画)	2028年3月期 (計画)
売上高	87.5億円	93.8億円	48.7億円	103.2億円	150億円
営業利益	10.3億円	11.5億円	5.0億円	13.0億円	30億円
営業利益率	11.9%	12.3%	10.4%	12.6%	20%
ROE	5.2%	19.5%	—	15.3%	15%超



名古屋CEセンター(名古屋市名川区 2025年9月稼働)

量的拡大の状況(2025年11月現在)

既存工場数		工場新設実績及び予定
中日本 エリア	16ヶ所	●愛知第八工場(一宮)(2024年10月稼働) ●名古屋CEセンター(2025年9月稼働) ●名古屋鳴海CEパーク(2026年上期稼働予定) ●5ヶ所進行中
東日本 エリア	6ヶ所	●6ヶ所進行中
合計	22ヶ所	16ヶ所以上を予定の内、2ヶ所稼働、12ヶ所進行中

【補足】中日本エリアには、近畿地方、中国地方を含みます。

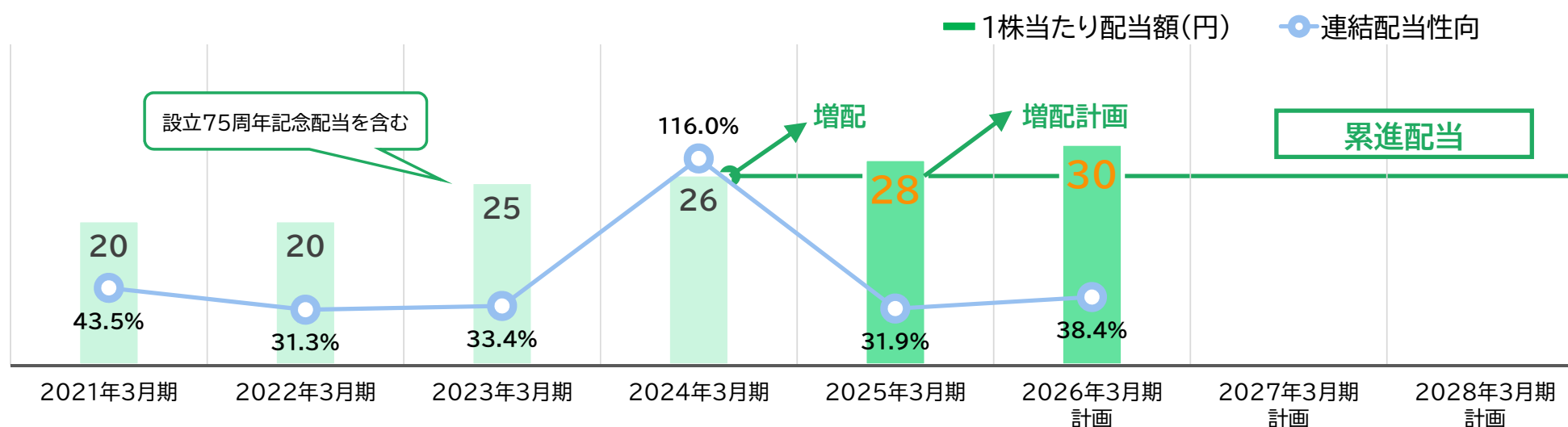
Copyright © FULUHASHI EPO CORPORATION All rights reserved.

3. 中期経営計画進捗(成長戦略・株主還元)

中期経営計画の進捗状況(株主還元)



- 株主還元拡大のために、
 1. 原資である利益の確保
 2. 事業成長及びサステナビリティ関係の適切な投資
 3. 健全な財務体質の確保
- 現中計期間(2025年3月期～2028年3月期)は累進配当を基本とします
- 成長投資も継続しつつ、将来的な連結配当性向は35%程度を目指します
- 株主の皆様の利益向上と、より多くの投資家の皆様に当社株式を保有して頂くため、今期末を基準とした株主優待制度を導入します



【補足】 2023年4月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。
上記グラフでは2023年4月1日以前においても株式分割の効力を加味して1株当たりの配当金を再計算しております。

4.トピックス 統合報告書



- ポイント①:トップメッセージ

経営戦略や資本コスト、株価を意識した経営の実現に向けた対応について掲載

- ポイント②:中期経営計画

中期経営計画の進捗状況について、定量目標・量的拡大・サステナビリティの観点から報告

- ポイント③:社外取締役メッセージ

コーポレート・ガバナンスや企業価値の向上に向け、多様な専門性と経験を持つ社外取締役が果たす役割についてメッセージ形式で掲載

統合報告書の閲覧はこちらから→





<参考資料> 会社概要



社 名	フルハシEPO株式会社（英語名 FULUHASHI EPO CORPORATION）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場、名古屋証券取引所 メイン市場 証券取引コード:9221
創 業	1947年12月
設 立	1948年2月
本 社	名古屋市中区金山一丁目13番13号
資 本 金	1,507百万円(2025年3月末)
従 業 員 数	483名(連結:2025年9月末)
事 業 内 容	● バイオマテリアル事業 ● 資源循環事業
関 係 会 社	● 連結子会社:5社（国内3社・海外2社） ● 持分法適用関連会社:2社(ともに国内)

本資料の取り扱いについて

■本資料は、情報提供を目的としたものであり、当社株式等の特定の商品についての募集・投資勧誘・営業等を目的としたものではありません。

■本資料に記載されている見解・見通し・予測等は、資料作成時点での当社の判断です。将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を確認された上で、ご利用ください。

■本資料で提供している情報は万全を期していますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

■本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【本資料及びIRに関するお問い合わせ先】

フルハシEPO株式会社 総務部

Mail: 9221epo-ir@fuluhashi.co.jp